

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【151】
2. 日時：令和4年4月18日 16時00分～18時10分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他8名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（原子炉圧力容器の耐震性についての計算書等）について、令和4年4月12日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【原子炉圧力容器の応力解析の方針】

- N9ノズルには10本の管が接続されているが、それらの管から受ける反力を、計算上どのように考慮しているか説明すること。

【原子炉圧力容器の耐震性についての計算書】

- 原子炉圧力容器の応力評価点のうち、一次+二次応力強さが $3 \cdot S_m$ を超え、簡易弾塑性解析の方法を適用するとしている全ての評価点について、同解析の内容を説明すること。

【ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書】

- 炉内計測配管の耐震重要度分類について確認のうえ、耐震評価の要否

を説明すること。

- 応力計算のモデルについて、実機との対応関係が分かるように説明すること。また、モデルに対する荷重のかけ方が分かるように説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし